
遊戯王 思うがままに書いてみる

閃牙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 思うがままに書いてみる

【Nコード】

N5249Z

【作者名】

閃牙

【あらすじ】

新しく書き下ろした遊戯王の物語。
オリジナルだけど

新たなキャラクター達の物語。

同時にそれは、彼らの壮大（予定）の物語の始まりであった。

僕の考えたさいきょカード（オリカのこと）が登場予定です。

更新するスピードは分かりませんが、書く気になったら書くぐらいなので

適当に読んでくれてかまいません。

プロローグ

「おい、デュエルしろよ」

「破滅のフォトンストリーム！」

「おちつけ。幽霊とはどういう効果だ？いつ発動する？」

……違う違う。

俺の学校はそんな人はいない。

俺の名前は『一>>きゆうせいゆうとうくく救世 遊刀』。

……名前ダサイと思った奴、デュエルしろよ。

……いやあー悪いな。

書いていた遊戯王は重苦しいとか言ってたので、新たに書き下ろしてもらった。

そして俺は主人公だ！

分かるか！？主人公だぞ！主人公！

いきなり急遽考えられて、あげくのはてに挫折ばっかする作者が！俺という存在を生み出して！

ほのぼのした話を書こうとしている！

本音を言えば、終わりを考えてなかったとか。まあ奴らしいけどな。

……？「ねえ？」

ん？うるさいな。

今いいところだろ？ジャマするなよ。

???「デュエルしようよ」

……。

戦いの場は学校。

ただの学校、まあデュエリスト教育学校なんだけどな。

遠い場所にある『デュエリスト養成学校 精霊校』とは姉妹校の協定を結んでいて……。

いや、長くは語らん。

俺はさつき上で地味に紹介した『救世 遊刀』はこの学校の生徒だ。何も特徴がなく、元気だけがとりえの決闘者だ。

成績はそんなに悪くはないけど良くもない。

俺から見てクラスに40人ほどいるんだが、半分の18人目よりは成績が悪い。

けどもう半分の22人目よりは成績が良い。

そして今日の放課後から物語は始まる。

???「ねえ遊刀？」

遊刀「ん……？」

女の子が話しかけてくる。

茶髪でツインテール。

慎重は164センチぐらいだ。

こいつは『春野 歌乃』

歌手とデュエリストを目指している俺の同級生。
だけど歌手なら歌手の勉強しろって思うけどな。

歌乃「デュエルしょ？」

遊刀「よし！デュエルだ！『歌乃』！！」

歌乃「いくわよ！今日こそあなたに勝って……するんだから！」

何か後半の部分が聞き取れなかったがまあ気にしない。
では……。

遊刀・歌乃「デュエル！！」

まずは決闘。話はそれからだ！（前書き）

とりあえずデュエルシーンです。

……無茶苦茶ご都合主義っぽいので日々努力します。

デッキを考えてないと厳しいですね……

まずは決闘。話はそれからだ！

遊刀「お・れ・の！ターン！ドロー！『終末の騎士』召喚！」

終末の騎士

LV4 ATK/1400 DEF/1200 闇 戦士

遊刀「コイツの効果。召喚成功によりデッキから闇属性モンスター『儀式魔人リリーサー』

を1体墓地に送る！」

まあ闇属性なら使われるカード。

闇属性専用の『おろかな埋葬』だ。

歌乃「さっそく儀式の準備？そう上手くいくかな？」

遊刀「上手くいくと……いいなあ」

というのもアイツのデッキは里ビート。

霊使いを使ったファンデッキだ。

しかし『魔法族の里』と『王宮のお触れ』のコンボはなかなかいやらしい。

遊刀「俺はこれでターンエンド」

遊刀の場

手札5 LP4000

歌乃「そう……なら私のターン。ドロー！手札よりフィールド魔法『魔法族の里』発動！」

遊刀「早！発動早！」

あのカードはコントローラの場に魔法使いがいればその対戦相手……すなわち俺は魔法カードが発動できなくなってしまう。
俺の場に魔法使いがいればいいのだが、俺のデッキに魔法使いは少ない。

歌乃「そして手札より『憑依装着・エリア』を召喚！」

憑依装着・エリア

LV4 ATK/1850 DEF/1500 水 魔法使い族

遊刀「あ」

歌乃「いけエリア！終末に攻撃よ！」

エリアの杖による魔法弾が終末に飛んでくる。
避けてくれればいいがそうもいかない。

遊刀「ぐっ」LP4000 3550

歌乃「私はカードを1枚セットして……ターンエンドよ」

歌乃の場
里

手札：3 LP 4000

遊刀「チクショウ……俺のターン！ドロー」

遊刀「お」

ドローしたのは『召喚僧・サモンプリースト』。
コイツで魔法カードのロックは崩せる。
だがあの伏せカード……。

遊刀「恐れていても始まらない！手札より『召喚僧・サモンプリースト』を召喚！」

召喚僧・サモンプリースト

LV 4 ATK / 800 DEF / 1600 闇 魔法使い族

歌乃「魔法カードを使う気？もう嫁呼ぶ？」

遊刀「それもいいんだが……実は最近カードを手に入れてね。
そいつを使わせてもらっよ！」

歌乃「……」

遊刀「何だよ」

歌乃「早くしてよね。休憩終わっちゃっ」

遊刀（だったら放課後に仕掛けろよ……）

遊刀「時間がないし更新予定があまりにも遅いからさくつといくぜ！

サモンブリーストの効果！手札の魔法カードを捨てデッキからレベル4のモンスター

を特殊召喚する！対象は『儀式魔人プレサイダー』！

儀式魔人プレサイダー

LV4 ATK/1800 DEF/1400 闇 悪魔族

歌乃「レベル4が二体って……あ！」

遊刀「いくぜ！手札より『儀式の準備』を発動！デッキから俺の嫁を手札に加え墓地から『救世の儀式』を手札にもどす！」

歌乃「サモプリで捨てたか……」

遊刀「そういうことだ」

遊刀（だけど困ったな……嫁召喚すると……エクシーズができないしかも今出たプレサイダーは攻撃ができない……）

遊刀「しかたない！サモプリとプレサイダーでオーバーレイ！！」

遊刀「2体のモンスターで、オーバーレイネットワークを構築！

エクシーズ召喚！！禁呪により炎と水の邪融合体！！『ラヴァルバル・チェイン』！！」

ラヴァルバル・チェイン

RANK4 ATK/1800 DEF/1000 海龍族 炎

今はとりあえず守備表示だ。

こいつではたかだか憑依装着すら倒せない。

歌乃「ラヴァルバルって……ラヴァルじゃないのに」

遊刀「いいんだよ！強いんだから！チェインの効果！エクシーズ素材を1つ取り除き

デッキからカードを墓地に送る！デッキから『聖鳥クレイン』を墓地に！」

当然取り除くのはプレサイダー。

これで彼女の呼ぶ準備だけは揃った。

……あとはあの魔法族の里だ。

遊刀「……1枚カードをセットしてターンエンド」

遊刀の場

手札：4 LP 3550

歌乃「私のターン。ドロー！『魔導戦士 ブレイカー』召還！」

魔導戦士 ブレイカー

LV4 ATK/1600 DEF/1000 魔法使い族 闇

歌乃「ブレイカーの効果！召喚時にこのカードに魔力カウンターが1つ乗る。

そしてこのカードは魔力カウンター1つにつき攻撃力が300ポイントアップする！」

魔導戦士ブレイカーの攻撃力 1600 1900

遊刀「チ……」

歌乃「ブレイカーのモンスター効果！魔力カウンターを1つ取り除き伏せカードを破壊する！」

対象は遊刀の伏せカードよ！」

遊刀「リバースカード！『リビングデッドの呼び声』！墓地のモンスターを1体特殊召喚！」

対象は『聖鳥クレイン』！！」

聖鳥クレイン

LV4 ATK/1600 DEF/400 鳥獣族 光

歌乃「無理してモンスターを蘇生した意味は？」

遊刀「ああ。たしかにブレイカーの効果でリビングデッドは破壊される。

だけどクレインは『特殊召喚成功したとき、カードを1枚ドロ』する！」

歌乃「……」

リビングデッド破壊 クレイン破壊 遊刀1枚ドロによって手札5枚

歌乃「だけど場のモンスターは増えない！ブレイカーでチェーンに攻撃！」

遊刀「ぐ……チェーン……」

ブレイカーの剣技でチェインは斬殺される。

歌乃「エリアでダイレクトアタック！……のついでにリバーズカード『マジシャンズ・サークル』！！」

遊刀「あれは……」

歌乃「お互いに攻撃力2000以下の魔法使いのモンスターを攻撃表示で特殊召喚！

私は『ブラック・マジシャン・ガール』を選択！」

遊刀「……俺はデッキから『召喚僧・サモンプリースト』を選択する」

ブラック・マジシャン・ガール

LV6 ATK/2000 DEF/1700 魔法使い族 闇

もちろんこれは大量生産されたカード。

これ自体は遠い町の『聖林』……？

なんかそんな子が持っているって聞いた。

歌乃「エリアでサモプリに攻撃！」

遊刀「サモプリ……っ！」 LP3550 2400

エリアの魔法攻撃『葵』でサモプリが水に吞まれる。

歌乃「ブラマジガール！ダイレクトアタック！『ブラック・バーニング』！！」

遊刀「うわあああああ！」LP2400 400

歌乃「あと400。どーするのかな？」

遊刀「……」

歌乃「私はカードを1枚セットしてターンエンド！」

歌乃の場

手札：2 LP4000

遊刀「俺のターン。ドロー！」

歌乃（次で皆で攻撃で終わり。だって王宮のお触れだもんね）

遊刀「……ん？」

ドローカードはカオス・ソーサラーか。

たしか光と闇が多いというだけでとりあえず入れといたカードだ。
……あ。

遊刀「俺は墓地のクレインとサモプリをゲームから除外して

手札より『カオス・ソーサラー』を特殊召喚！」

カオス・ソーサラー

LV6 ATK/2300 DEF/2000 魔法使い族 闇

歌乃「あー！」

遊刀「手札より『救世の儀式』を発動！リリース対象は墓地の『儀式魔人リリースー』」。

そして『儀式魔人プレサイダー』をゲームから除外しリリース分となる！

これで合計レベルは7！これで『救世の美神 ノースウエムコ』が特殊召喚できるぜ！」

儀式魔人。

こいつらは墓地にいればこれを除外してリリース分となる。

遊刀「出る！俺の嫁！『ノースウエムコ』！！」

救世の美神 ノースウエムコ

Lv7 ATK/2700 DEF/1200 魔法使い族 光

歌乃「うう……出たな忌々しい嫁！」

遊刀「何で忌々しいんだよ」

歌乃「えーっと……こっちの台詞」

遊刀「まあいい。ウエムコの効果！儀式召喚成功時、このカードの儀式召喚に使用した

リリース分カードを選択！選択したカードが場に表側で存在する限り

彼女はカードの効果では破壊されないぜ！対象は『カオス・ソーサラー』と『ブラック・マジシャン・ガール』！」

とここまではいい。

だがアイツのライフは4000。
一気に削る方法があればいいが……。

遊刀「お」

手札は残り3枚。

クレインで引いたカードは『ゴブリンドバーク』。

手札のレベル4以下があればそいつを特殊召喚してこいつは守備表示になるカードだ。

俺の手札にはそのレベル4以下の『聖鳥クレイン』があった。

遊刀「へへっ！俺は手札より『ゴブリンドバーク』召喚！」

ゴブリンドバーク

LV4 ATK/1400 DEF/0 戦士族 地

歌乃「切り込み隊長の親戚か……」

遊刀「効果はどっちもほぼ同じだけどな！ゴブリンドバークの効果！

手札のレベル4以下『聖鳥クレイン』を特殊召喚！そして特殊召喚成功時このカードは守備表示になる」

聖鳥クレイン特殊召喚 ゴブリンドバーク守備表示

遊刀「更にカードを1枚ドロ―！」

……よし！このカードは……。

遊刀「カオス・ソーサラーの効果！場の表側モンスターをゲームから除外！対象は『ブラック・マジシャン・ガール』！」

まあこのターン、こいつは攻撃ができないけどな」

歌乃「ちい！」

ブラック・マジシャン・ガール 除外

カオス・ソーサラーこのターン攻撃不可

遊刀「いくぜ！手札より『死者蘇生』！対象は『聖鳥クレイン』！」

歌乃「そんなにクレインが好きなの！？」

遊刀「いや。ドローできるから」

基本はサモプリでデッキから、手札の場合はゴブリンドバークからの特殊召喚がメイン。

手札消費が激しい以上何かで補充するしかないと考えた結果だ。

遊刀「という訳でまたドローな」

歌乃「うう……でも私の伏せカードが！」

遊刀「お前のデッキの罫は『王宮のお触れ』しかないだろ」

歌乃「デッキ知ってるからってその通りとは限らないわよ？」

遊刀「だって昨日もデュエルしたし、今日もデッキ変えてないって言ってたし」

歌乃「Oh！」

遊刀「いくぜ！ゴブリンドバグとクレインー一体でオーバーレイ！」

2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エク
シース召喚！

硬き鎧に包まれし龍！『カチコチドラゴン』！！」

カチコチドラゴン

RANK 4 ATK / 2100 DEF / 1300 ドラゴン族 地

歌乃「いいわよね！エクシース」

遊刀「歌乃も入れればいいじゃん」

歌乃「魔法使い・レベル4のエクシースはいないでしょ！」

遊刀「……とりあえずバトルフェイズ！カチコチドラゴンでブレイ
カーに攻撃！」

ドラゴンのブレス攻撃でブレイカーを吹き飛ばす。

歌乃「きゃ！」 LP 4000 3500

遊刀「カチコチドラゴンのモンスター効果！エクシース素材を一つ
取り除き再度攻撃！」

除外エクシース素材 聖鳥クレイン

遊刀「更にエリアに攻撃！」

プレスでエリアも吹き飛ばす。

歌乃「鬼！悪魔！人でなし！」LP3500 3250

遊刀「なんでそこまで言われるんだ？とりあえずクレインで攻撃！
……そしてウエムコで直接攻撃！ちよくせつこうげき『サルベージョン・マジック 救世魔法！』」

歌乃「あーあああああ！」LP3250 1650 0

キンコーンカーンコーン

二人「あ」

デュエルが終わると同時に鐘が鳴る。

急いで俺たちは教室に戻っていった。

鬼の先生『光野剣』が完全にブチぎれていた。

「???」ぐおおうつうううらあ！遊刀！歌乃！何故遅刻したあ
「」

遊刀・歌乃「コイツにデュエル挑まれた」

……あ。

その後、俺たちは廊下で立たされた。

歌乃「っていうさ遊刀」

遊刀「なんだよ」

歌乃「その……カードを嫁発言はやめて欲しいな」

遊刀「えー俺コイツ好きだもん」

歌乃（どうしてももしない人が好きになれるのよ……はあ）

遊刀「？」

なんでちよつと困った顔をされたのかが分からない。
だけあの光野。

たしか精霊校の交換教師というやつだ。
俺らの学校の美人『白木優奈』先生のほうが良かったなあ。

結局授業が終わり、俺は家に戻る。

母「お帰り」

遊刀「ただいま」

家には母がいる。

……父は蒸発しちゃった。
なんでも忙しい仕事という名の『浮気』が原因で離婚したとか……。
はつきりいつて家の事情など興味が無かった。

遊刀「いやぁ……」

自分の部屋に戻り、カバンを放り投げる。
俺の部屋には勉強机と『ウエムコ（自分で書いた）』の絵がある。
理想の嫁、大好きな彼女。

だけど……いつから好きになったっけ……。

思い出した。

S O V R っ て パ ッ ク 買 っ た と き に 偶 然 入 っ て い た ん だ 。
それで人目惚れしたんだ。

遊刀「フフ……アハハハハ！」

……。

……ぐう。

俺は眠ってしまった。

まずは決闘。話はそれからだ！（後書き）

無茶苦茶時間かかりました……。

申し訳ありません。

ちよっとお正月休み中にデッキ考えます。

………ついでに展開も。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5249z/>

遊戯王 思うがままに書いてみる

2011年12月31日18時49分発行